

2005年の初開催以来、延べ724万人が熱狂した日本最大級のクラシック音楽祭

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2017

2017年ゴールデンウィーク開催決定！

LA DANSE

ラ・ダンス 舞曲の祭典

テーマは、「ラ・ダンス 舞曲の祭典」

開催日：2017年5月4日（木・祝）・5日（金・祝）・6日（土）

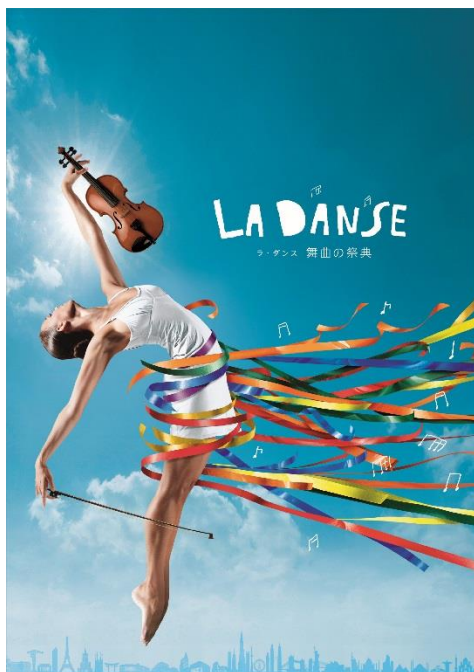
会場：東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町エリア

主催：株式会社東京国際フォーラム

株式会社東京国際フォーラム（本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：上條清文、以下TIF）は、2017年5月4日（木・祝）から5月6日（土）のゴールデンウィークの3日間、日本最大級のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭2017」（以下LFJ2017）を開催します。

LFJ2017 の主な特徴

1. テーマは「ラ・ダンス 舞曲の祭典」。日本クラシック史上最大級となる舞曲の祭典をお届けします。



太古の昔より、人が踊るところにはいつも音楽が奏でられていました。

最も原初的な表現行為であるダンスは、常に音楽とともに民衆の中から生まれ、ごく早い時期からクラシック音楽に影響を与えてきました。今年のラ・フォル・ジュルネでは、ルネサンスから今日まで600年間にわたるダンスと音楽の密接な関係をたどります。舞曲のわくわくするような躍動感と爆発的なエネルギーが、会場全体にみなぎります。

LFJ2017 テーマビジュアル

ダンスの躍動感、舞曲の民族色ゆたかな旋律、そして音楽からみなぎる生きる喜びや祝祭感を、踊るヴァイオリニストと初夏の風に吹かれる色とりどりのテープで表現しました。

またクラシックの舞曲がさまざまな地域の民衆の音楽から生まれたことにちなんで、地平線には世界各地のランドマークをシルエットでかたどっています。

中央には、日本のラ・フォル・ジュルネの開催地である東京国際フォーラム、びわ湖ホール、りゅーとびあも並んでいます。

2. 主な出演アーティスト

- ・LFJ ならではの多彩なピアニスト—アルゲリッチも絶賛する**ネルソン・ゲルナー**が初参加。**レミ・ジュニエ**、**小曽根真**をはじめ常連や若手も多数出演。
- ・LFJ の看板オーケストラが世界中から集結 — **フランス国立ロワール管弦楽団**、**オーベルニュ室内管弦楽団**、**ウラル・フィルハーモニー管弦楽団**、**シンフォニア・ヴァルソヴィア**が来日する他、**新日本フィルハーモニー交響楽団**が出演。
- ・ナントでも注目を集めた和太鼓奏者 **林英哲**が今年も登場。注目のパーカッショニスト **シモーネ・ルビノ**との共演も。
- ・LFJ のもうひとつの顔 “脱ジャンル集団” **渋さ知らズオーケストラ**は、今回も奇想天外なステージを披露。
- ・メキシコの伝統音楽アンサンブル **Tembembe (テンベンベ)** など民族音楽のグループが初来日。



ネルソン・ゲルナー



シモーネ・ルビノ



Tembembe (テンベンベ)

3. 主なプログラム

民族舞踊に触発された傑作 ブラムス：ハンガリー舞曲、ドヴォルザーク：スラヴ舞曲、バルトーク：ルーマニア民族舞曲、ビゼー：カルメン組曲、グラナドス：スペイン舞曲集、ファリャ：恋は魔術師

バレエ音楽の傑作 チャイコフスキー：白鳥の湖、くるみ割り人形、ストラヴィンスキー：火の鳥、ペトルーシユカ、春の祭典、ボロディン：だったん人の踊り

舞曲のリズムを取り入れたバロック～ロマン派の傑作 J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲、無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ、ベートーヴェン：交響曲第7番、ヴァイオリン協奏曲、三重協奏曲、ショパン：ピアノ協奏曲第1番、マズルカ集、ポロネーズ集

舞曲のリズムを取り入れた20世紀以降の傑作 ラヴェル：ボレロ、ラ・ヴァルス、ラフマニノフ：シンフォニック・ダンス、ショスタコーヴィチ：ジャズ組曲、バーンスタイン：ウエスト・サイド・ストーリー、ガーシュウィン：キューバ序曲、ライヒ：18人の音楽家のための音楽、グラス：2つのティンパニとオーケストラのための幻想的協奏曲

※プログラムや出演アーティストは変更となる場合がございます。ご了承ください。

プログラムや出演者等詳細の発表は、2017年2月中旬を予定しております。13回目のLFJにどうぞご期待ください。

【ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭 2017】実施概要

- 催事名 : ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2017
- テーマ : ラ・ダンス 舞曲の祭典
- 開催日 : 2017年5月4日(木・祝)・5日(金・祝)・6日(土)
- 会場 : 東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町エリア
- 「LFJフレンズ」チケット先行発売開始 : 2017年2月20日(月)
- チケット一般発売開始 : 2017年3月18日(土)
- 公演数(予定) : 約350公演(うち有料公演122公演)
- 来場者見込み : 約43万人(うち東京国際フォーラム 約37万人)
- 主催 : 株式会社東京国際フォーラム
- 企画制作 : CREA/KAJIMOTO
- 公式サイト : <http://www.lfj.jp>

<補足資料>

「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭」(LFJ)とは

「ラ・フォル・ジュルネ」は、1995年フランス西部の港町ナントで「クラシックの民主化」を掲げて誕生したクラシック音楽祭。世界中からアーティストが集い、一流の演奏を、1公演約45分、低料金で、朝から晩まで繰り広げます。

日本では、2005年から毎年ゴールデンウィークに開催。有料公演のほか、有料公演チケット（及び半券）を提示すれば誰でも参加できる数々のイベント（コンサート、子ども向けプログラム、マスタークラス、講演会など※）が行われ、子どもから大人まで気軽に楽しめます。また、音楽祭期間中は、丸の内などの周辺エリアでもミニコンサートが行われ、街中が音楽一色に包まれます。

※一部プログラムは事前配布整理券が必要です。

LFJの<5つの魅力>

1. いつも新しい発見が！毎年異なる独自テーマで展開される音楽祭
2. 出演アーティストは2000人以上、300以上のコンサートを開催
3. 1公演は約45分、朝から晩までコンサートをはしごして音楽三昧
4. 一流の演奏を1500円からのリーズナブルなプライスでご提供
5. エリアコンサートなどイベントも充実。街中が音楽に包まれます



写真・三浦興一

アーティストック・ディレクター ルネ・マルタン

1979年ナント市に芸術研究制作センターを創設。1981年より、南仏でラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭を開始。世界最大級のピアノフェスに成長し現在に至る。1995年、従来のクラシックの常識を根底から覆す音楽祭ラ・フォル・ジュルネを始動。「クラシックの革命」と評判をよび、世界各地で大成功をおさめている。

